

かわおか

豊かに たましく 人とつながって生きる子 ~自信をもつ 人の役に立つ~



ホームページ用QRコード

人の役に立つ

豊かに たましく 人とつながって生きる子 ~自信をもつ 人の役に立つ~

学校だより臨時号

TEL 075(381)2032

令和3年3月18日発行

FAX 075(391)5031

ホームページアドレス <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kawaoka-s/>

京都市立川岡小学校



明治5年9月24日創立

校長 中村佳明

〒615-8106 京都市西京区川島滑樋町 14

後期学校評価（アンケート結果考察・学校関係者評価）

◆学校教育目標

子どもたちが自ら命を絶つ等、痛ましい事件を見ると辛くなります。今後も、アンケートや日々の見取りで子どもたちの小さな変化に気付き、寄り添って迅速に対応する学校であってほしいと思います。

今年度2回目の学校評価アンケートも1回目同様、概ね良好な結果でした。

今回児童に実施したアンケートで、はじめて自由記述欄を設け、「学校生活で楽しいこと」を聞いてみました。

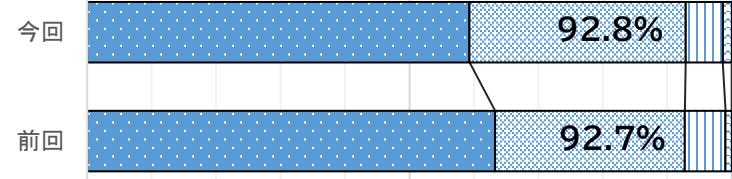
学校で「楽しい」と思うことを書きましょう。いくつ書いてもいいです。

多くの児童が、友だちのこと、遊びのこと、授業のこと、行事のこと、給食のこと等を生き生きと回答しました。新型コロナに振り回された1年でしたが、本校が大事にしている「人とつながる」ことで自信をもち、成長している自分を実感しているようでした。

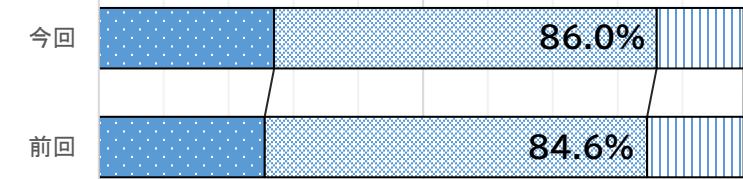
しかし、わずかながら記述のまったくない児童もあり、その中には「学校に楽しく登校できていない」「自分のよさをみとめられたり、ほめてもらったりできていない」と感じているケースがありました。それは少数であっても大事なメッセージです。本人とともに、学校へ来る意味が見付かるように支援していきます。

また、1つでも楽しいことがあれば登校する意欲につながるとはいうものの、楽しいことはたくさんあった方がいいです。「今日は天気が悪くて外遊びできないけど、友だちと話し合う授業があるから楽しみだ。」「算数は難しいけど、音楽の合奏が楽しいからがんばりたい。」とモチベーションを切り替えられる力は、今後必要となってくる自分をコントロールする大切な力です。これからも、子どもたちにとっての嬉しいこと、楽しいことがたくさん見付かる学校をめざします。

3.人のためにがんばろうという気持ちをもって行動していますか



3.お子様は、人のためにがんばろうという気持ちをもって行動していますか



前回に引き続き、「できている」が児童は9割以上、保護者も8割以上という高い割合でした。学校教育目標に掲げている「人の役に立つ」ことが着実に意識付けられていると言えます。人のために頑張ろうという気持ちは、他者や社会とのかかわりから生れるものです。つながりを感じなければ、そういった気持ちは生まれてきません。

「人の役に立てた」という自己有用感が自分の自信につながり、それが自己効力感の獲得になります。自分に自信や力がつくと、さらに視野を広げて集団の中で貢献できる力を生みます。今後も、**自分と他者のつながりを大切にして「協働する力」の育成に取り組んでいきます。**

頑張ろうとする子どもたちは、人に称賛されるとさらにその気持ちが高まります。ご家庭でも、よきタイミングでほめたり、励ましたりしていただきますようお願いします。

「つながり」ということで言うと、地域での子どもたちのあいさつが少ない気がします。あいさつ＝「知っている人づくりと考え、安心・安全、防犯に強いまちづくりのためにも習慣付けましょう。」

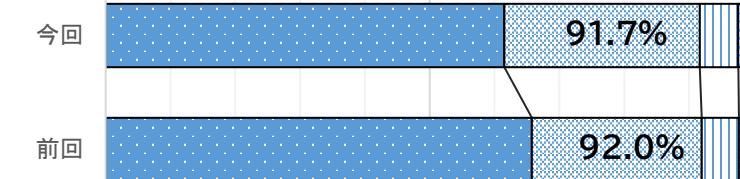
学校評価のためのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。その結果は、「よくできている・そう思う」と「だいたいできている・だいたいそう思う」を「できている」として分析・考察に活用させていただきました。すべての結果(数値)は、ホームページに掲載しています。また、3月16日(火)に開催しました学校運営協議会理事会でいただいたご意見の一部を、「学校関係者評価」として□内にてお知らせいたします。

◆確かな学力

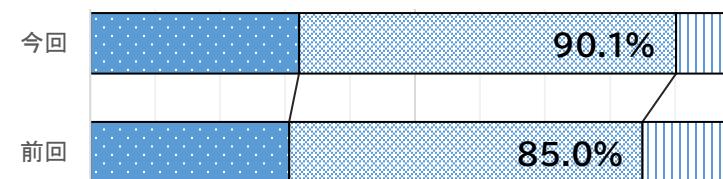
タブレット端末の活用と、自分の手でコツコツ努力することを上手に組み合わせて学習してほしいです。

本との出会い、読書する習慣も大事にしてほしいです。

5.授業で「わかった！」「できた！」という気持ちをもつことができていますか



5.お子様は、授業で「わかった！」「できた！」という気持ちをもつことができていますか



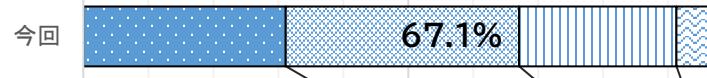
児童、保護者ともに「できている」が9割を超えていました。学習に意欲的に取り組み、多くの子が達成感を味わっていることが分かります。

またこれは、子どもたちや保護者の方の授業への期待度が高いことを示しているとも捉えています。今年度、コロナ禍で授業にも制約がありましたが、私たちはできる範囲で創意工夫し、前向きに授業づくりに励んできました。GIGAスクール構想に向けて大きく一歩を踏み出した年でもありました。これからさらに一人一台のタブレットを使うことで、授業づくりが変わり、学びの可能性も広がっていきます。これまでの授業実践とICTとのベストミックスを図っていきたいと考えています。

◆健やかな体

子育てへのアドバイス、ヒントを保護者が得る機会が増えるといいですね。懇談会の活用もその一つですね。
手洗いしても、その手をちゃんと拭かない子をよく見かけます。ハンカチで拭くことまで指導を徹底してはどうでしょうか。

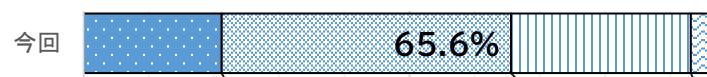
II. 「はやくねる」など、きそく正しい生活をしていますか



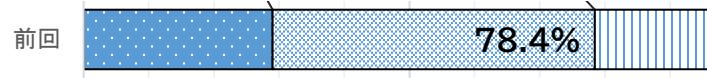
II. きそく正しい生活をし、運動や外遊びをしていますか



II. お子様は「早くねる」など、規則正しい生活をしていますか



II. お子様は、規則正しい生活をし、適度に運動や外遊びをしていますか

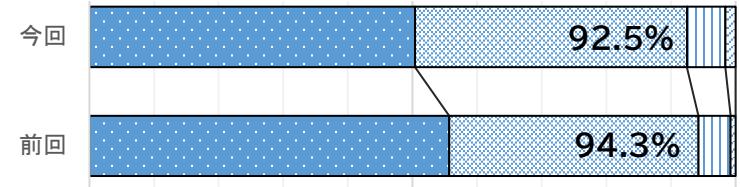


前回のアンケート結果から、規則正しい生活の重点を就寝時刻ととらえ、指導を続けていくとお伝えしていました。そこで、今回のアンケート項目も上記のように変更して、問うことにしました。その結果は・・・やはり1割以上前回を下回る結果となりました。

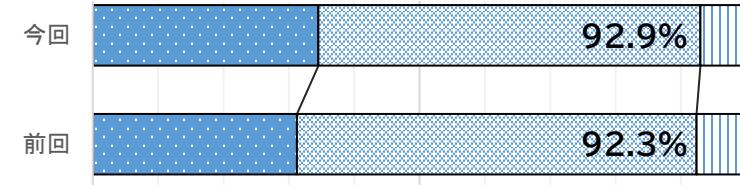
しかし、冬休み明けに行なったきいき生活チェックの「ねたじこく」は、夏休み明けよりも改善が見られた子もありました。保護者の方からのコメントにも「10時までに寝ると目標をたて頑張っていました」「前回より10時までに寝るという意識をもてました」と書いてくださっているのを見ると、ご家庭でも声かけしてくださったことがうかがえました。また、「寝るのが遅くなると体調を崩して風邪をひきやすくなるからこれからも早く寝るようにしよう」とコメントくださる方もありました。子どもたちがしっかりと意識して過ごしたり、ご家庭でも学校の取組と一緒に取り組んでくださったりすることを嬉しく思っています。

学校でもさらに、寝る時刻が遅くなる原因をもう少し具体的に探ってみたり、睡眠の大切さをわかりやすく伝える学習を取り入れたりして働きかけていきたいと考えています。

13. KAWAOKA MAKENAI COVID-19 (川岡小学校をまもるための18のもくひょう) を実行していますか

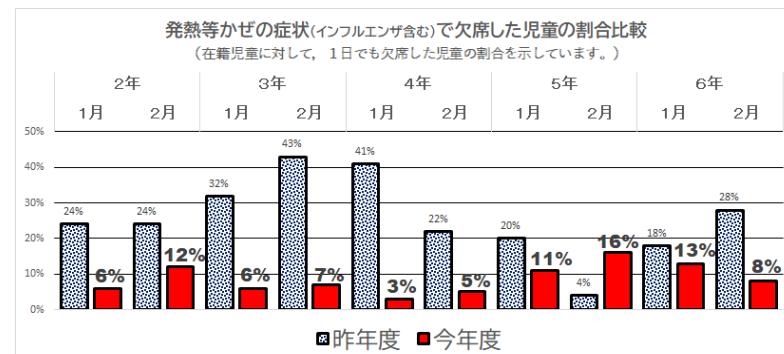


13. お子様に、KAWAOKA MAKENAI COVID-19 をもとに、新型コロナ対策を正しく理解し、心と体の感染防止に努めるようにされていますか



KAWAOKA MAKENAI COVID-19 は、さまざまな感染症対策や新しい生活様式が求められる中、川岡小学校が閉塞感にあえぐことなく、人とつながり豊かに学び合える場となるように、6月の教育活動再開にあたって独自で策定したものです。教室・校内に掲示し、教職員が折に触れ意識を促してきた甲斐もあり、多くの児童がしっかりと守ろうとしています。

感染症対策としては、ご家庭の協力もあり、大きな効果を見ています。下のグラフに示す通り、発熱等風邪の症状(インフルエンザ含む)で欠席する児童の割合が激減しました。



これは、児童の学習機会を保障する上でも実に大切なことです。また、川岡では、新型コロナに係るいじめや悪ふ

ざけ、人権侵害事案はほぼ発生していません。人と人が攻撃しあったり、責任を押し付けあったりすれば、困難を乗り越える力が弱まっていくだけだという意識が川岡を支えている証拠だと思います。

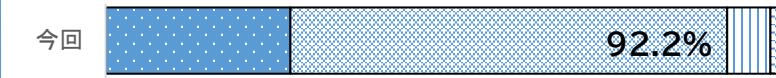
ただ、世の中がそうであるように、制限が解除され、対策が一人一人の自制に委ねられるようになると、どうしても緩みやほころびが出てくるものです。それは、「次なる緊急事態宣言」や「何としても回避したい再びの臨時休校」を招きかねません。KAWAOKA MAKENAI COVID-19 は、社会情勢や子どもたちの様子を反映させた令和3年度版に改訂し、「よくできている」回答が増えるように継続していきます。ご協力をよろしくお願いします。

◆その他

学校の様子や取組への思いがよく分かり、学校だよりを楽しみにしています。

担任の先生の生き生きとした姿が、子どもたちの意欲につながっています。それぞれの先生のよさを存分に發揮してください。

15. 学校から発信している様々な情報(学校だより、学級だより、ホームページ等)は、学校の様子がよくわかりますか



学校の様子がわかる、と多くの方が答えてくださいました。今年度は、直接子どもたちの様子を見ていただく機会が少なく、私たちも非常に残念な思いでした。行事やイベントだけでなく、いつもの学校生活を発信できるよう心掛けてきました。これからも、生き生きとした子どもたちの様子をお届けできるようにしていきたいと思います。オンライン上でも、ペーパー上でも情報配信に努めています。

来年度から、メール配信システムもバージョンアップし新しくなります。登録方法については、4月にご案内させていただきますので、ぜひ登録をお願いいたします。

今回の学校評価をふまえ、子どもたちが生き生きと活動し、成長していくよう来年度も取組を進めていきたいと思います。今後とも本校教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。